

個・孤の時代の高齢期

～誰もがおひとりさまになる社会～

令和6年度県民公開講座

一般社団法人静岡県医療ソーシャルワーカー協会主催

【静岡県公衆衛生活動事業費補助事業】

令和7年

3月16日

日

14:00～15:30

(質疑応答を含む)

県民公開講座

参加無料

WEB開催

対象者

静岡県民、学生、医療・保健・福祉従事者、協会会員 等
(定員先着500名)

司会進行・コーディネーター

一般社団法人静岡県医療ソーシャルワーカー協会監事
磐田市立総合病院 増田 由美 氏

参加方法

受付が完了するとZOOMウェビナーより招待
メールが届きます
当日は届いたメールの「ウェビナーに参加」
ボタンを押して参加してください
(※リマインダーも届きます)

参加申込者のみ3月末日までアーカイブ視聴可能！

目的・内容

令和6年11月、国立社会保障・人口問題研究所は「15年後、日本の半数以上の都道府県で平均世帯人数が2人を下回る。」と発表しました。誰もが「おひとりさま」になる、そんな未来がやってきます。いずれ来ることは予想されても、何が必要なのか、どのような支援が欲しいのか、誰に相談すればいいのか、知っていますか？

本講座では、「いつか」に備えるきっかけになることを目的としています。

講師

沢村香苗先生

日本総研 創発戦略センター シニアスペシャリスト

研究・専門分野：高齢者心理学、消費者行動論

注力テーマ：高齢期～終末期のQOL向上および意思決定支援手法の開発

「人生100年時代のパートナー 自分のデジタルツインsubME」

「おひとりさま高齢者」の自律的生活支援研究会 SOLO Lab



参加申込み

下記アドレスまたは、QRコードからお申込みください

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_3isYZLrURaCtpUi1VSR24g

zoomウェビナーID：883 2987 6693 を入力し参加登録も可能です


令和7年3月15日（土）までにお申し込みください






おひとりさまとMSWについて…

講師の沢村先生は、「これからの高齢者は、一人で生きて死ぬことを想定すべき」と述べています。高齢期に入っても、大きな病気をしない限りは日常生活に何も支障がなく、いつまでも同じ自宅での暮らしが続きます。しかし、身体機能や認知機能の変化によって、今までと異なる新たな意思決定や、手続きの必要性が生じたときに、「おひとりさま」としての支援が必要になるのです。そのきっかけが入院という人は少なくありません。その時「おひとりさま」を支えるのがMSW（医療ソーシャルワーカー）の役割です。



一般社団法人静岡県医療ソーシャルワーカー協会は、皆様の健康生活をサポートする医療ソーシャルワーカー（MSW）の専門職団体です。



静岡県医療ソーシャルワーカー協会は、1960（昭和35）年12月19日に静岡県内の医療機関等で29名の医療ソーシャルワーカーが集まり「静岡県医療社会事業協会」という名称で発足しました。1992（平成4）年に現在の「静岡県医療ソーシャルワーカー協会」に名称変更し、現在は県内の病院等で医療・福祉・介護の相談業務を行う約300名の会員で構成されています。県民の公衆衛生の向上と社会福祉の増進に寄与することを目的とし、会員の資質向上を目指した研修会の開催、患者・家族・地域住民の福祉の向上を目指した調査・研究事業、県民を対象とした医療福祉に関する講演会の開催、難病医療福祉相談会等への会員の派遣等の事業を行っています。2021年12月には一般社団法人の法人格を取得しております。

協会ホームページ <http://www.sizumsw.com/>



お問い合わせ先

一般社団法人静岡県医療ソーシャルワーカー協会事務局担当 矢野
〒420-8623 静岡市葵区北番町23 静岡厚生病院 医療福祉科
TEL：054-271-7177（代） FAX：054-273-2184（代）

